

プログラム名	田んぼ 畑って すごい!! ～どこから来るの 私たちの給食～	
実施団体	○団体名：宮城県地球温暖化防止活動推進員 みどりむしグループ ○代表者名：菅野 喜美恵 ○電話：022-279-7795 ○FAX：022-279-7795 ○住所：仙台市青葉区国見ヶ丘4-1-9 ○E-Mail：kannofam@rose.ocn.ne.jp	
対象者	小学4～6年生、中学生	
対象人数	30人程度	
学習場所	教室など	
学習時間	2時限(90分)	
実施時期	通年	
準備物品・費用等 (講師謝金を除く)	実施団体側	ミニチュア田畑セット、赤外線温度計、タイマー、パネルボード、食材カード、文具(ワークシート、マーカー、模造紙、掲示用マグネットなど)
	利用者側	パソコン、プロジェクター、スクリーン、黒板、指図棒、筆記用具
事前打ち合わせ	1ヶ月程度前までに打ち合わせ	
効果的な学習段階	環境の学習後	
学習概要	1. 学習のねらい	
	身近な食べ物である給食を通して、地場産や県内産などの食材を生産している田畑がもつ、地球温暖化抑止力=「田んぼのちから」「畑のちから」への気づきと、給食を「食べること」で、地球温暖化防止に貢献できることへの気づき。	
	2. 学習する内容	3. 学習のポイント
	<p>①地球温暖化の実情(現状)を、パワーポイントで学習する。</p> <p>②単独調理場方式、共同調理場方式の給食の食材の調達の方法などをパネルで学習する。</p>  <p>岡田小学校へ生産者が届けた野菜</p> <p>給食担当の栄養士の方から、実際に提供された四季ごとのメニューと食材、購入した食材の生産地を教えてください、メニュー食材表を作る。また、買い物ゲームを通して、同じ食材でも別の産地のものを購入した場合との違いを児童生徒に考えさせる。</p>	 <p>児童による食品群カードのメニュー 校内広報(岡田小学校)</p> <p>給食の食材に、宮城県や東北近県の食材が多用されている。</p> <p>地場産の食材を食べることは、地球温暖化防止に役立っている。</p>

③ 田んぼ・畑の1日の気温調べのシミュレーションゲーム。

水槽に校地の土を入れた「大地」、少し長く伸びた芝生で作った「野菜栽培の畑」、畑に水を張った促成「水田」に、白熱球の太陽を組み合わせたミニチュアセットで、気温の観察をする。

日の出から日の入りまでの半日を20分間に圧縮して、気温の変化を観察する。

観察記録から、児童生徒に気温の差がなぜ生じたのかを考えさせ、温度上昇抑止力の「田んぼのちから」「畑のちから」の気づきをつくる。



時刻	菜畑の気温	水田の気温	水田の水温	水田の土温
① 日の出	20.3℃	20.4℃	19.8℃	
② 菜畑の気温	20.6℃	21.1℃	19.8℃	
③ 水田の気温	21.5℃	21.5℃	21.5℃	
④ 水田の水温	20.1℃	20.7℃	20.7℃	
⑤ 水田の土温	22.3℃	22.4℃	20.8℃	
⑥ 日の入り	20.4℃	21.4℃	20.6℃	

田んぼ・畑などの1日の気温調べ

4. 学習のまとめ

給食から、地球温暖化防止のための食生活を振り返り、地球に優しい生活の気づきを促す。
 天気の良い日は、太陽光発電が活躍している時であるとともに、田畑ではイネや野菜が太陽のエネルギーと二酸化炭素を利用し、光合成をして成長している。
 「田んぼのちから」「畑のちから」は、田畑に作物が作られていて発揮されるので、成果物の地場産の農産物を沢山食することが、「田んぼのちから」「畑のちから」へのエールになる。

追加・変更できる学習内容

- ・ご相談により、参加人数を1学年まで変更できます。その時は、若干のプログラムの変更があります。
- ・ご相談により、学習時間を1時限(45分)に変更できます。その時は、若干のプログラムの変更があります。
- ・栄養士の方や、生産者の方の話をプログラムに盛り込むことも可能です。
- ・学校田や学校畑の観察をプログラムに盛り込むことも可能です。

事前・事後学習についての助言

地球に優しい生活の一覧を提示します。
 できれば、給食を作っている栄養士の方のお話や、農産物の生産者から農産物を作っている気持ちなどのお話を聞く会を設けてもらえると、授業の効果がより発揮されます。

雨天時の学習内容

変更なし

プログラムの詳細

<http://www.feel-sendai.jp/program/tanbo.html>